

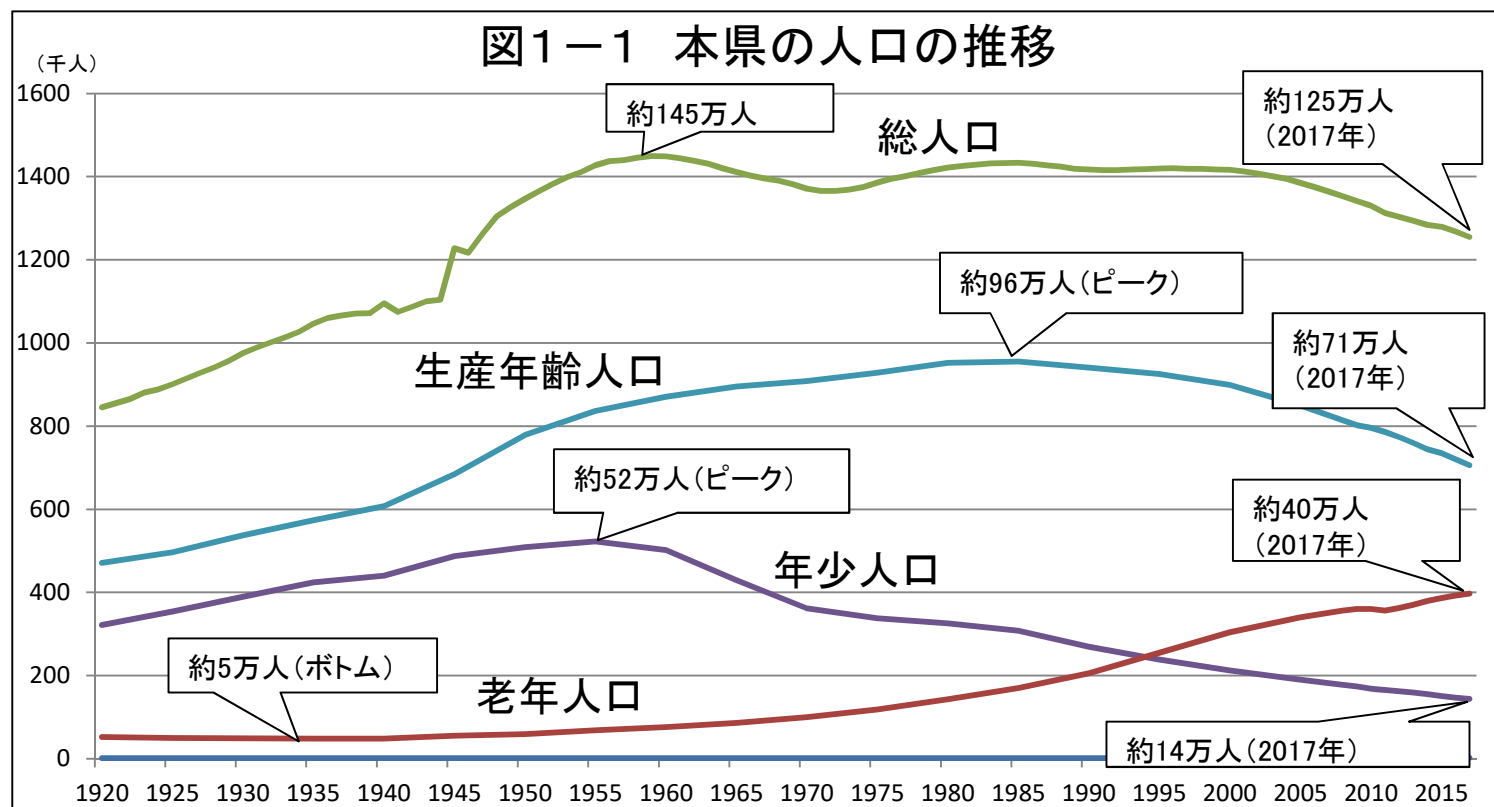
岩手県における人口 の動向について

平成30年 1月19日

「平成29年度 県政に関する県と市町村
との意見交換会」

岩手県政策地域部

1-1 岩手県の人口の推移



資料:
総務省統計局
「国勢調査」
「人口推計」
岩手県
「毎月人口推計」

最近の岩手県の人口(年齢3区分)

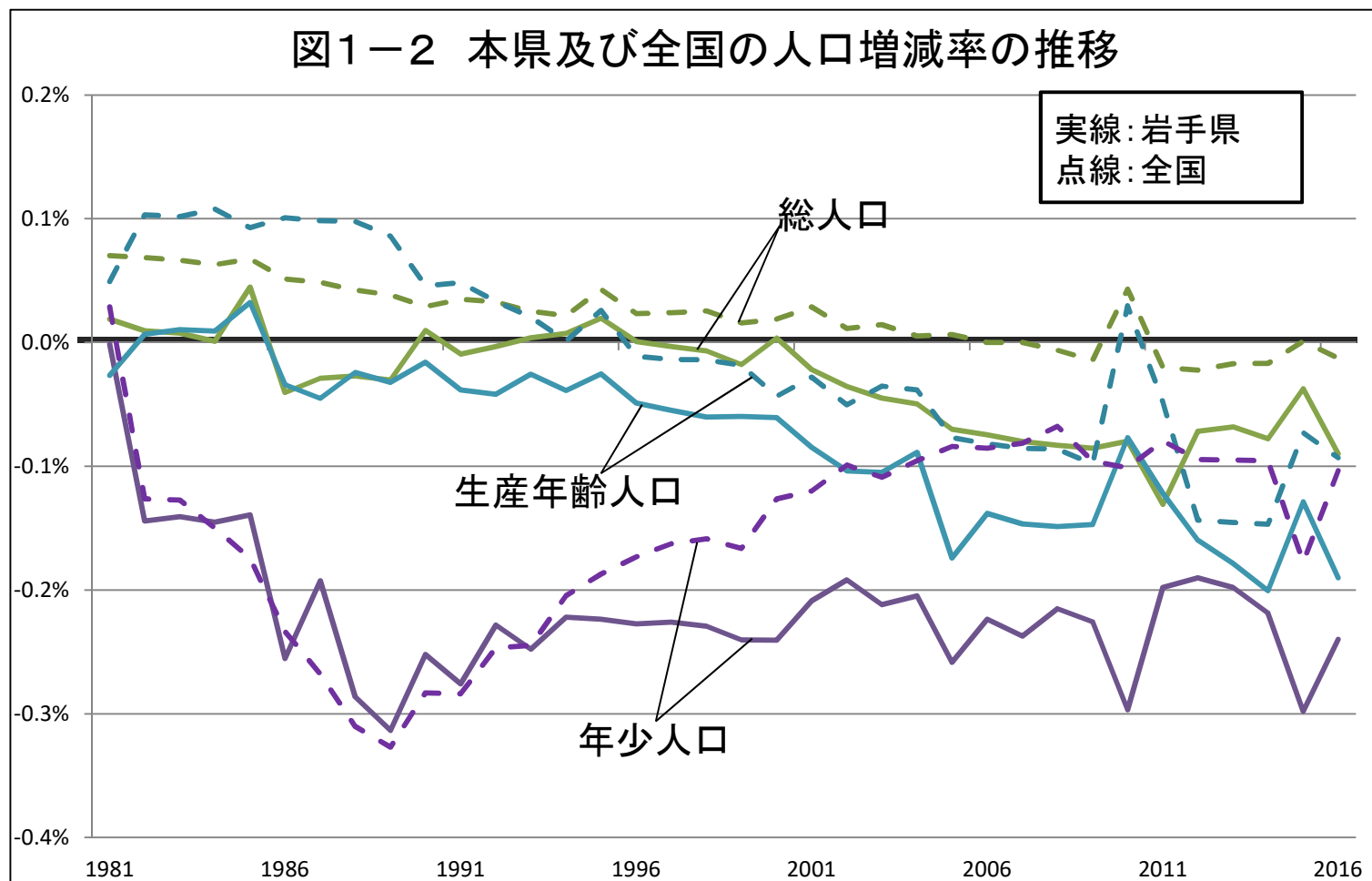
(人)

| 区分 | H20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総人口 | 1,352,388 | 1,340,852 | 1,330,147 | 1,312,756 | 1,303,351 | 1,294,453 | 1,284,384 | 1,279,594 | 1,268,083 | 1,254,807 |
| 0～14歳 | 177,987 | 173,968 | 168,804 | 165,465 | 162,319 | 159,107 | 155,629 | 150,992 | 147,370 | 143,835 |
| 15～64歳 | 813,927 | 801,956 | 795,780 | 786,085 | 773,516 | 759,706 | 744,473 | 734,886 | 720,908 | 706,322 |
| 65歳以上 | 356,221 | 360,675 | 360,498 | 356,141 | 362,451 | 370,575 | 379,217 | 386,573 | 392,662 | 397,507 |



市町村別人口一覧 ⇒ 別紙参照

1-2 岩手県の人口増減率の推移

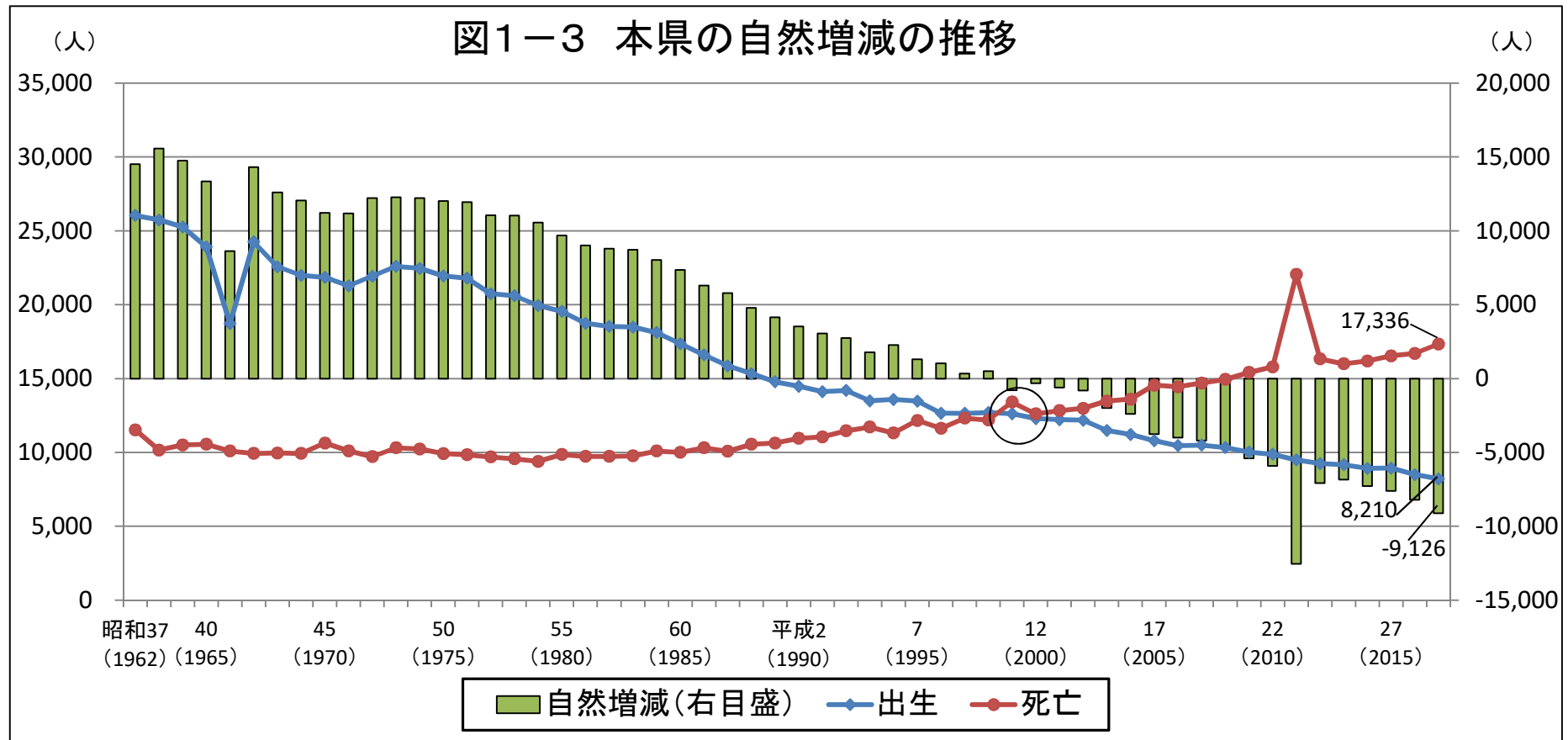


資料:
総務省統計局
「国勢調査」
「人口推計」
岩手県
「毎月人口推計」

- ① 総人口・生産年齢人口は、岩手県は全国に先行して減少傾向
- ② 年少人口は、岩手県・全国ともに減少傾向(90年代前半から開き)

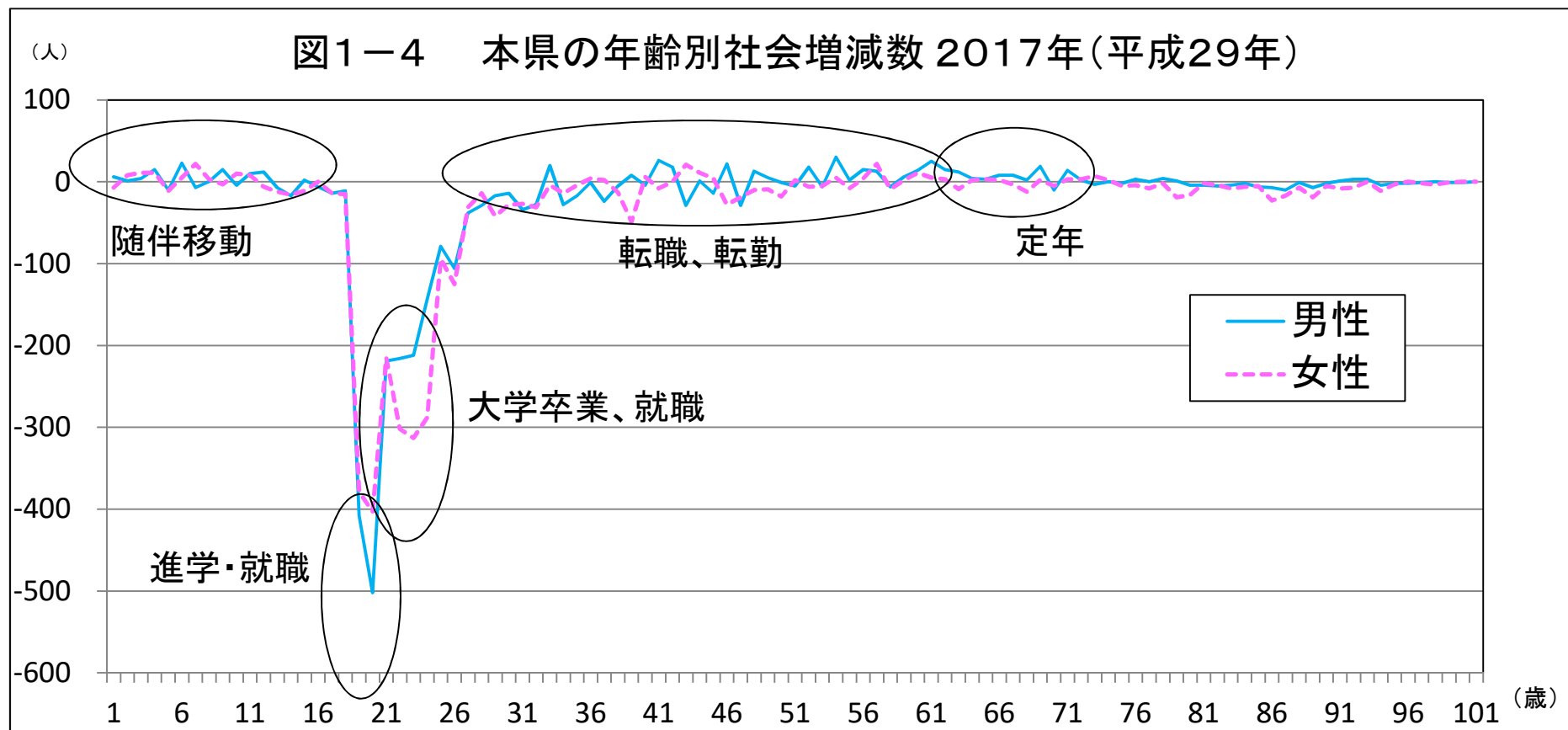
1-3 岩手県の年齢階級別の自然増減

図1-3 本県の自然増減の推移



平成11年以降、本県の出生数が死亡数を下回り、自然減が拡大

1-4 岩手県の年齢階級別の社会増減(注1)



資料: 岩手県「毎月人口推計」

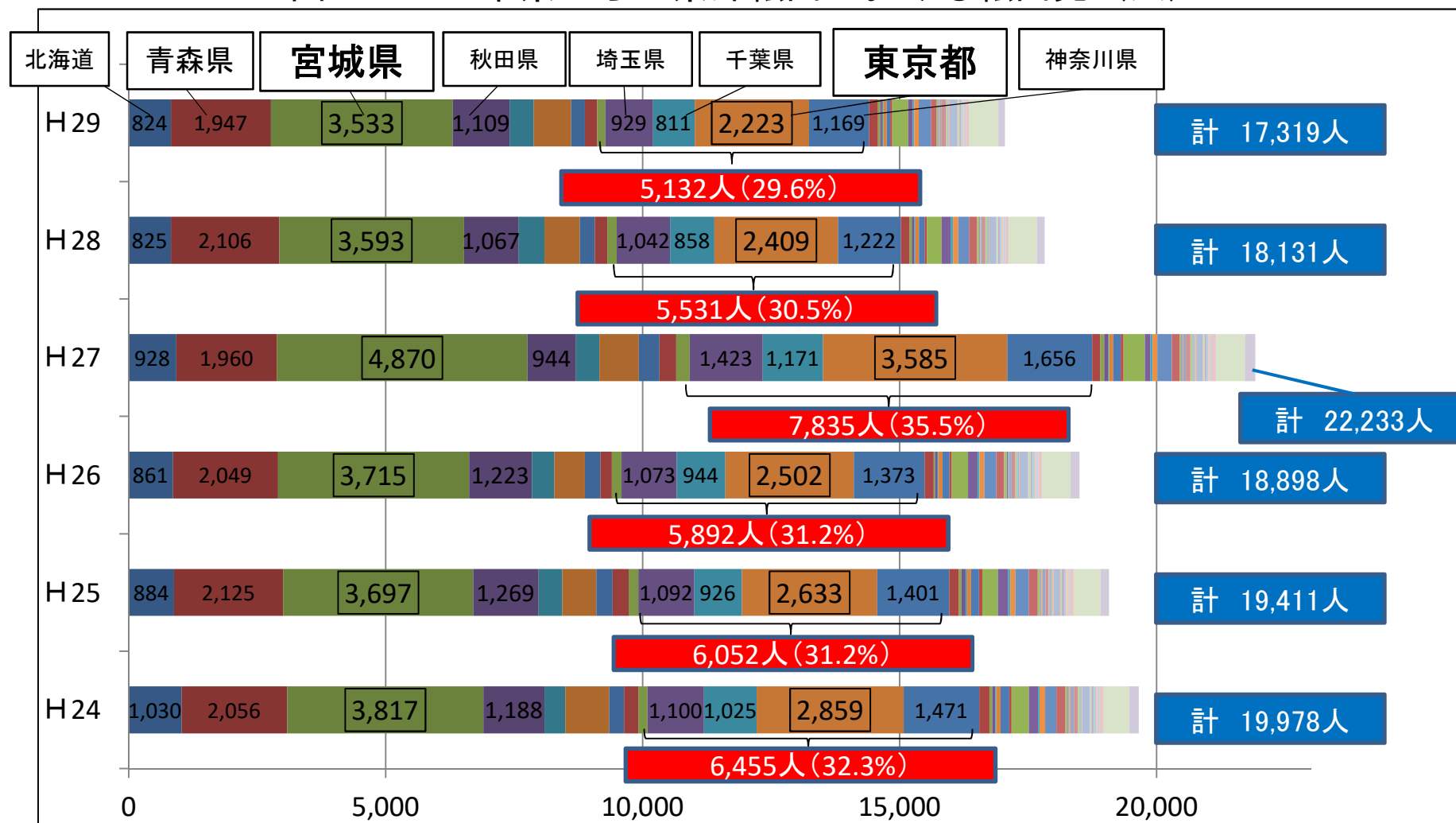
(注1) 職権処理による修正を含めない値

H29年の本県の年齢階級別の社会増減▲4,543人のうち、18歳～24歳の県外転出が▲3,833人(84.4%)

⇒ 進学・就職期における転出が顕著
※20代前半の女性の転出が特に顕著

2-1 岩手県からの県外転出における転出先

図2-1 本県からの県外転出における転出先（人）

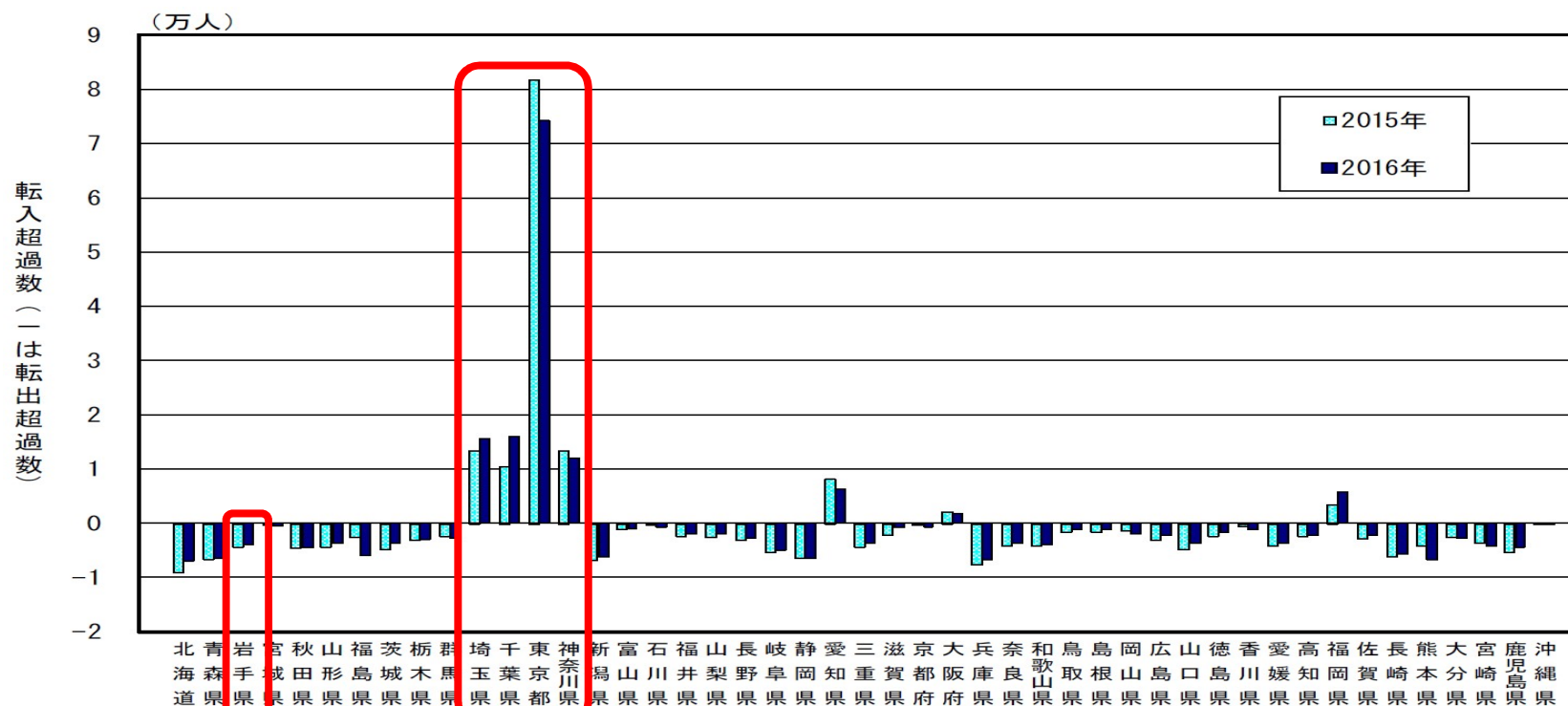


資料：総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」

- ①（H27を除くと）東京圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）が年間5,000～6,000人（本県県外転出全体のうち約30%）で推移
- ②県別では、毎年、宮城県、東京都、青森県の順

2-2 都道府県別の社会増減

図 2-2 都道府県別の社会増減（2015（H27）年、2016（H28）年）

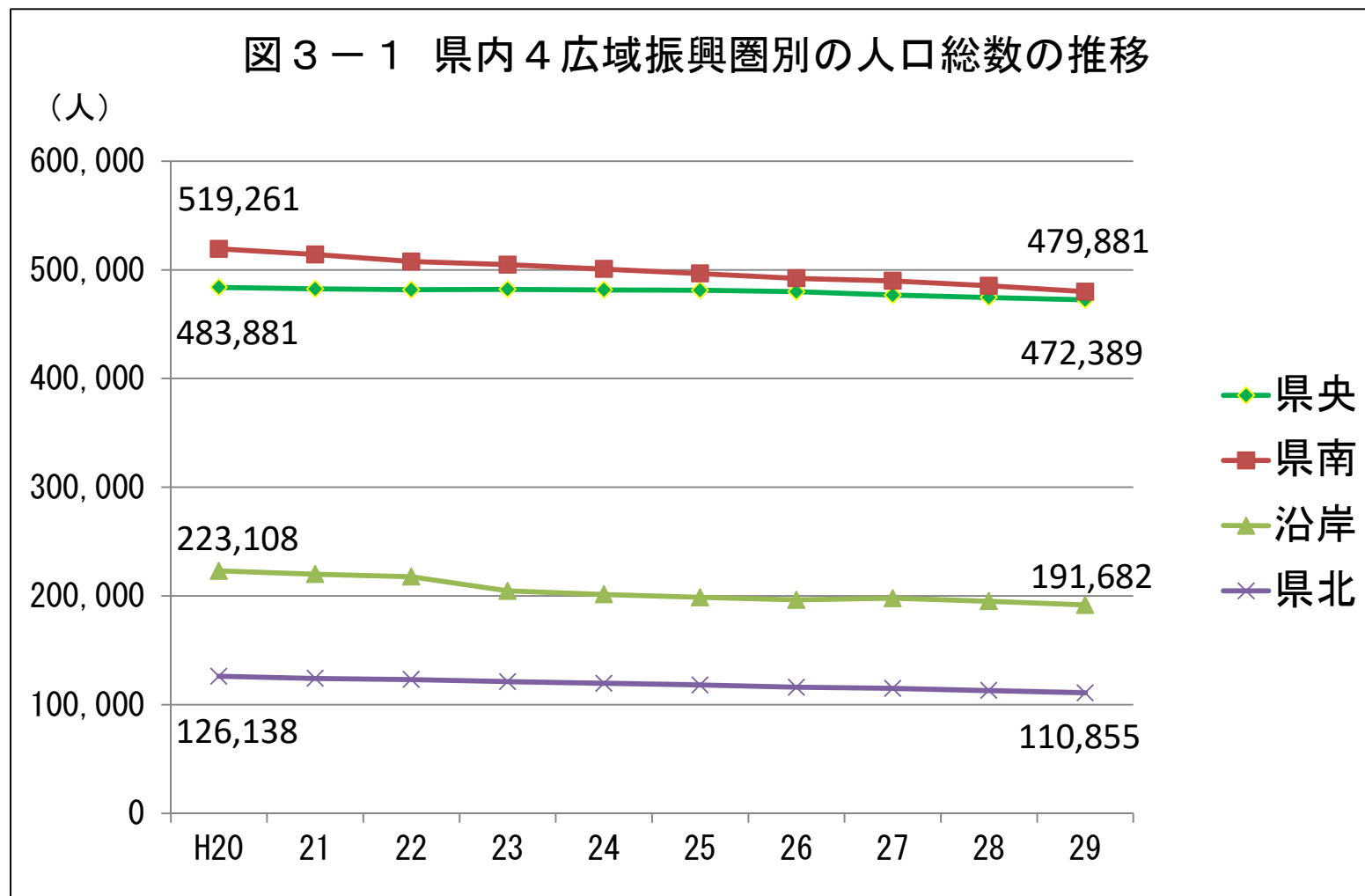


資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

- ①47都道府県のうち社会増(転入超過)は、次の7都府県のみ。
東京都(74,177人)、神奈川県(12,056人)、埼玉県(15,560人)、千葉県(16,075人) 愛知県(6,265人)、大阪府(1,794人)、福岡県(5,732人)
- ②3大都市圏のうち、社会増となったのは東京圏(117,868人増)のみ。名古屋圏(愛知・岐阜・三重)(2,363人減)、大阪圏(大阪・兵庫・京都・奈良)(9,335人減)は社会減。東京圏の社会増は昨年から、1,489人縮小。

參考資料

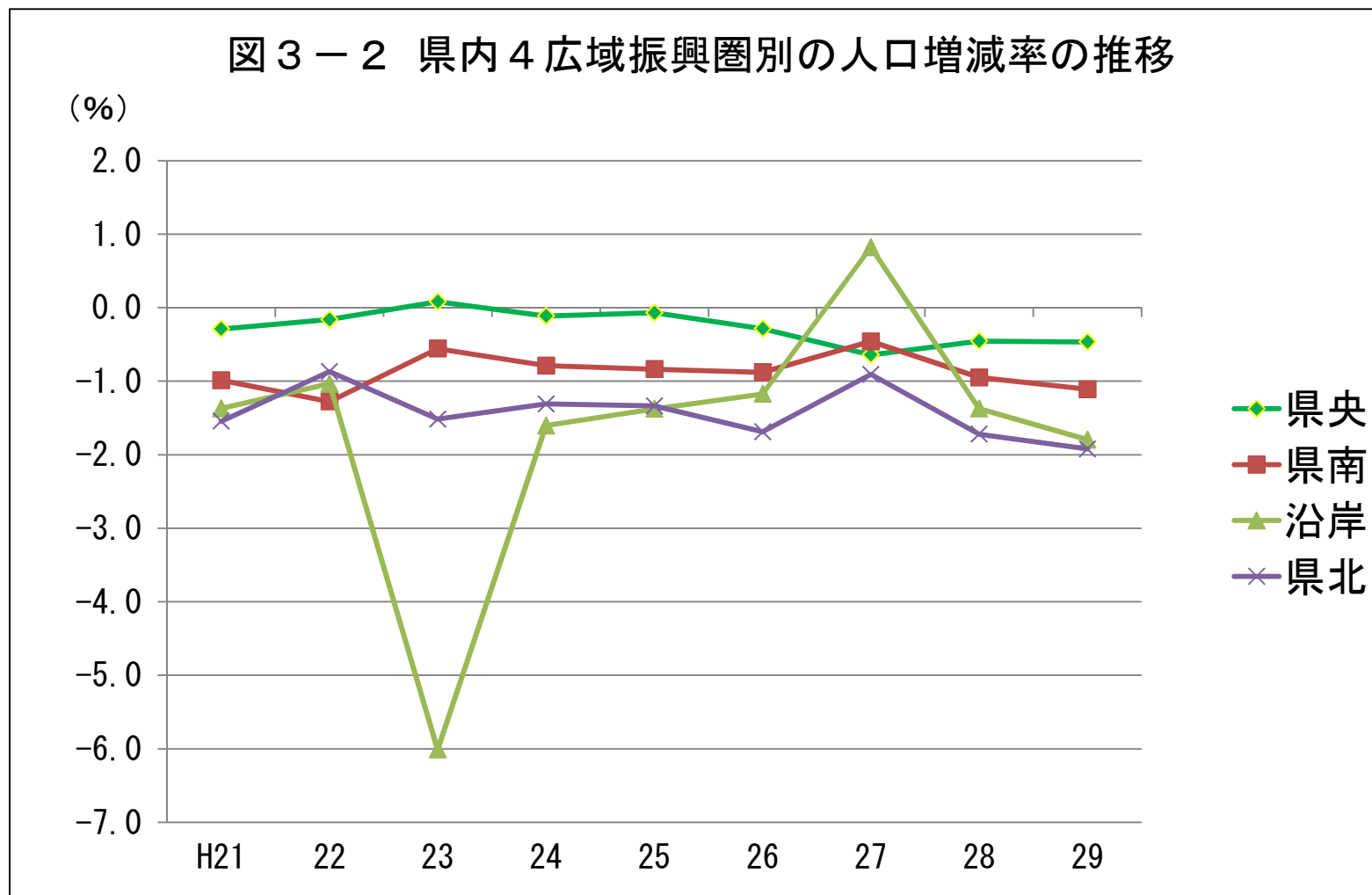
3-1 4広域振興圏別の人口の推移



資料:総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」

各広域振興圏で、横ばい又は減少傾向

3-2 4広域振興圏別の人口増減率(注2)の推移

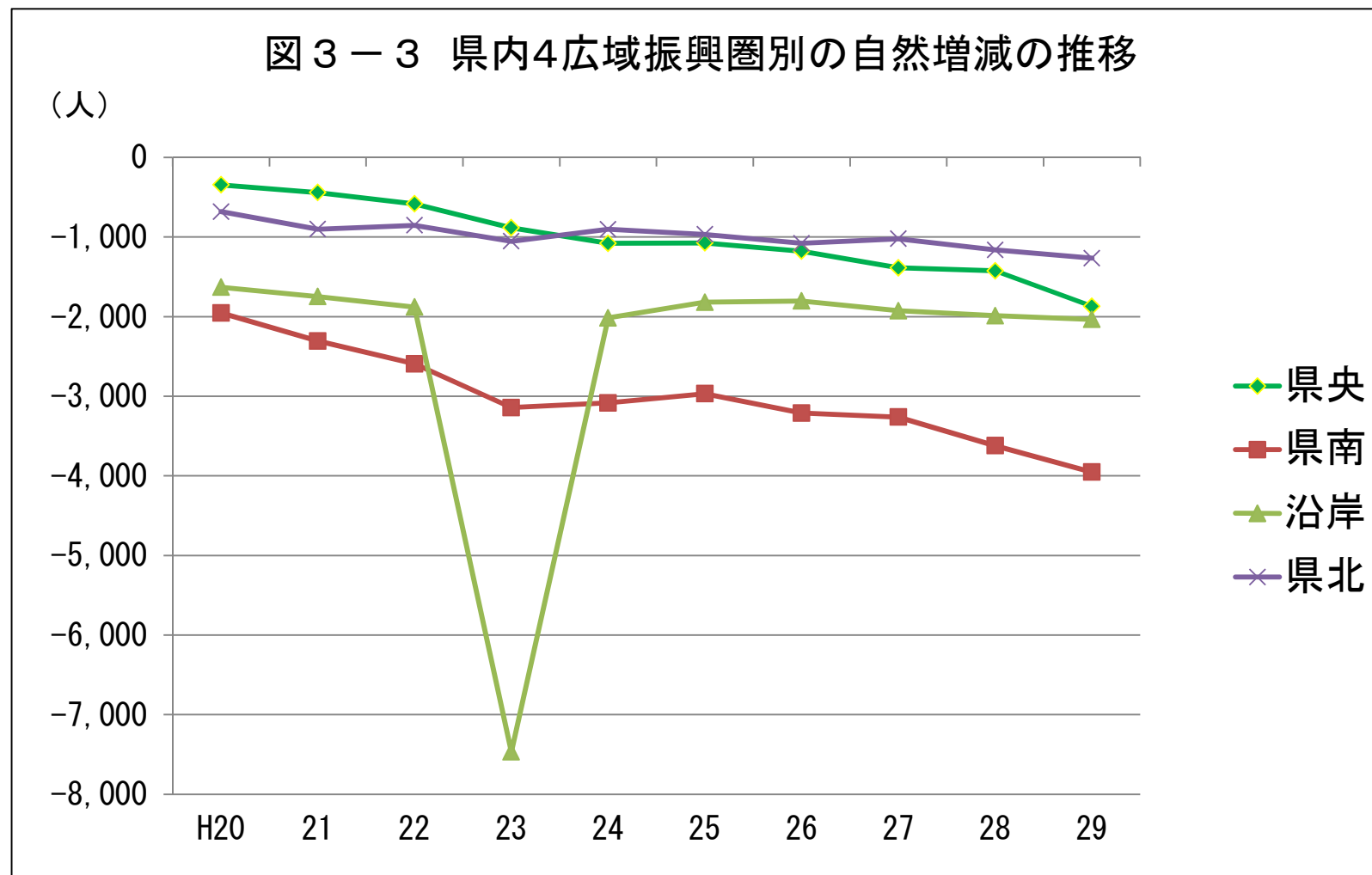


資料:総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」

(注2)人口増減率 : $((\text{当年人口} \div \text{前年人口}) - 1) \times 100\%$

(国勢調査が行われたH27年を除くと、)概ね0%～▲2.0%

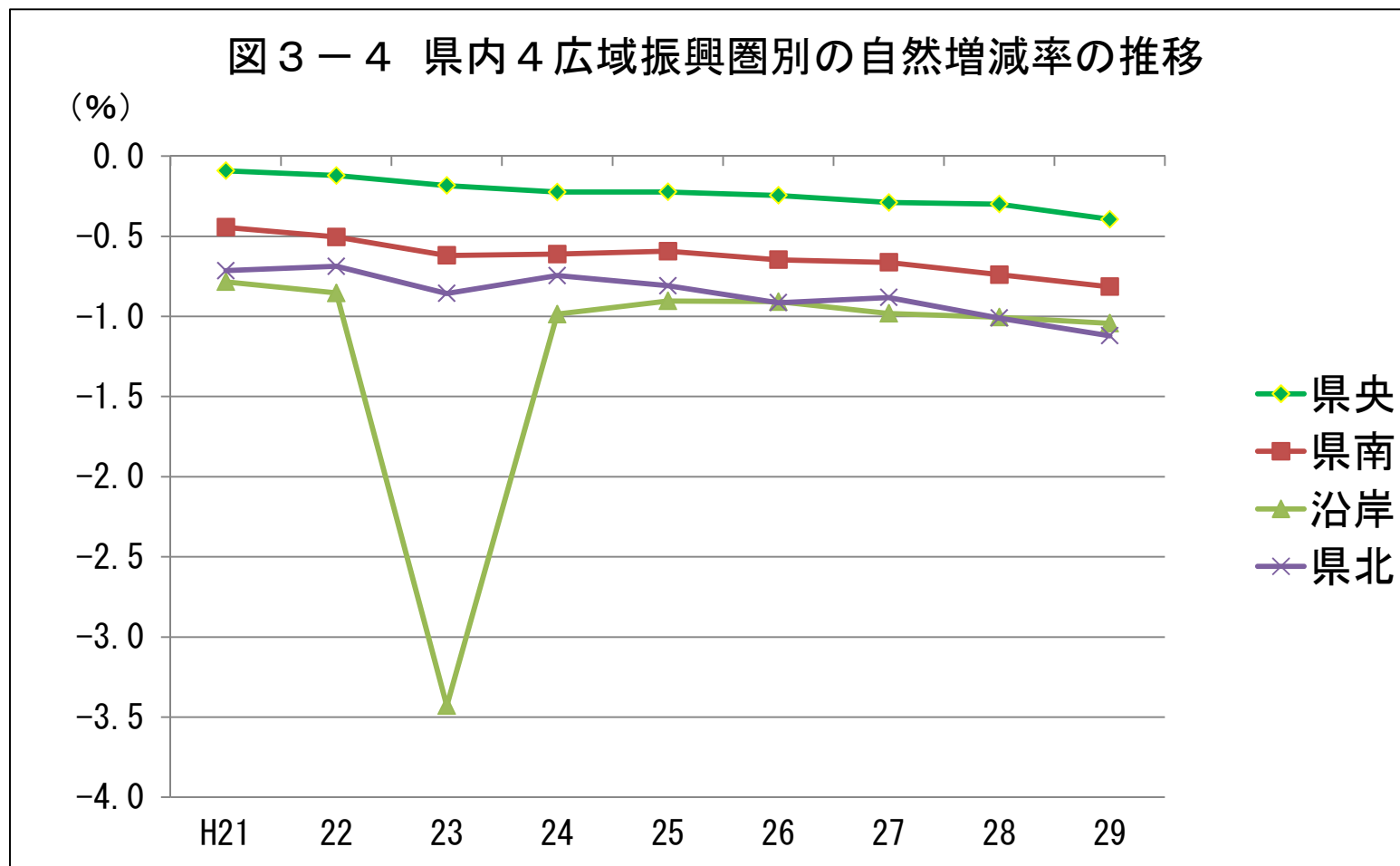
3-3 4広域振興圏別の自然増減の推移



資料：総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」

全ての広域振興圏で減少傾向

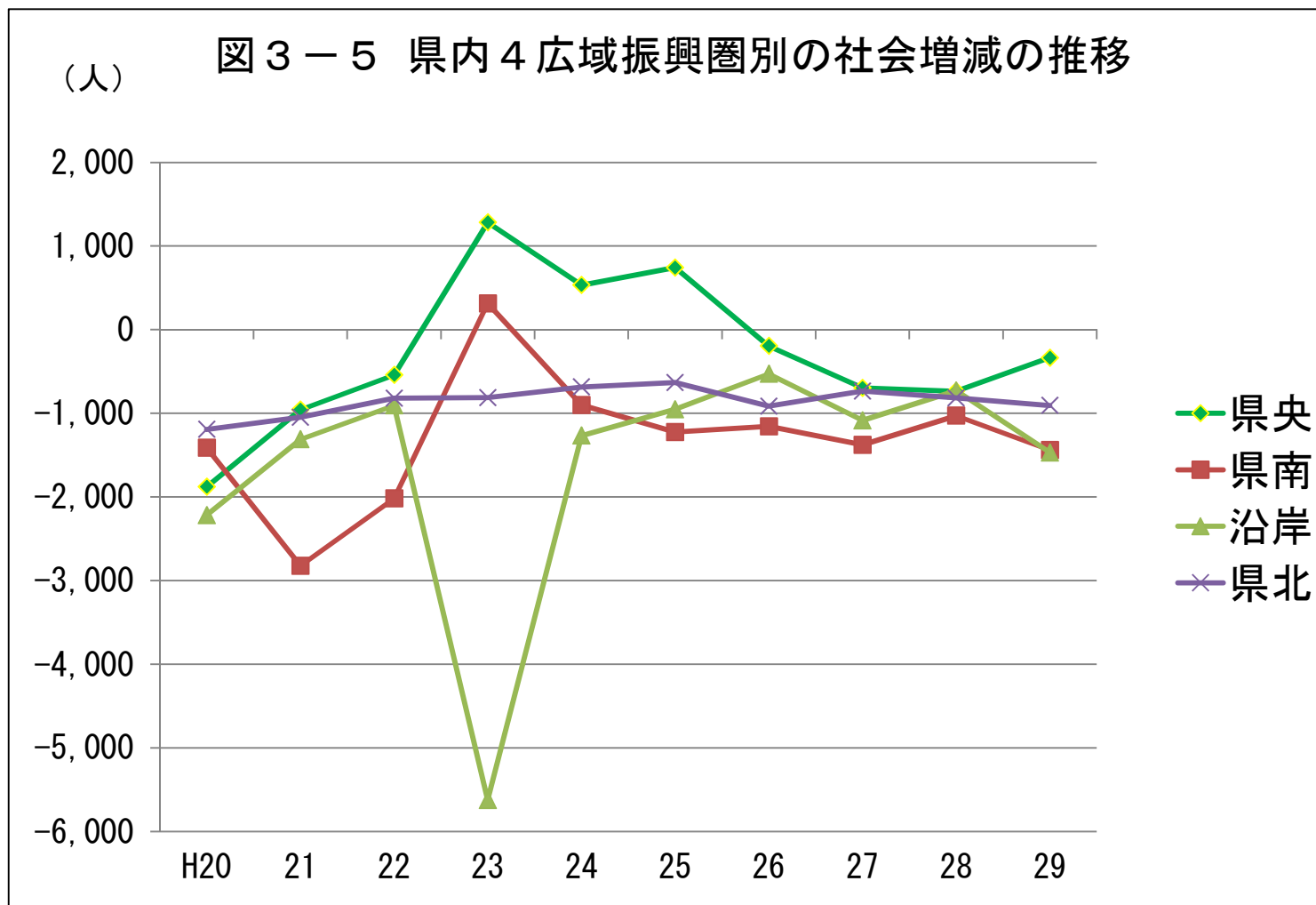
3-4 4広域振興圏別の自然増減率(注3)の推移



資料:総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」
(注3)自然増減率 : (当年自然増減÷前年人口)×100%

- ①全体的な傾向としてグラフが右下がり ⇒ 自然減が拡大傾向
- ②H29は、沿岸広域振興圏・県北広域振興圏で▲1.0%を下回っている

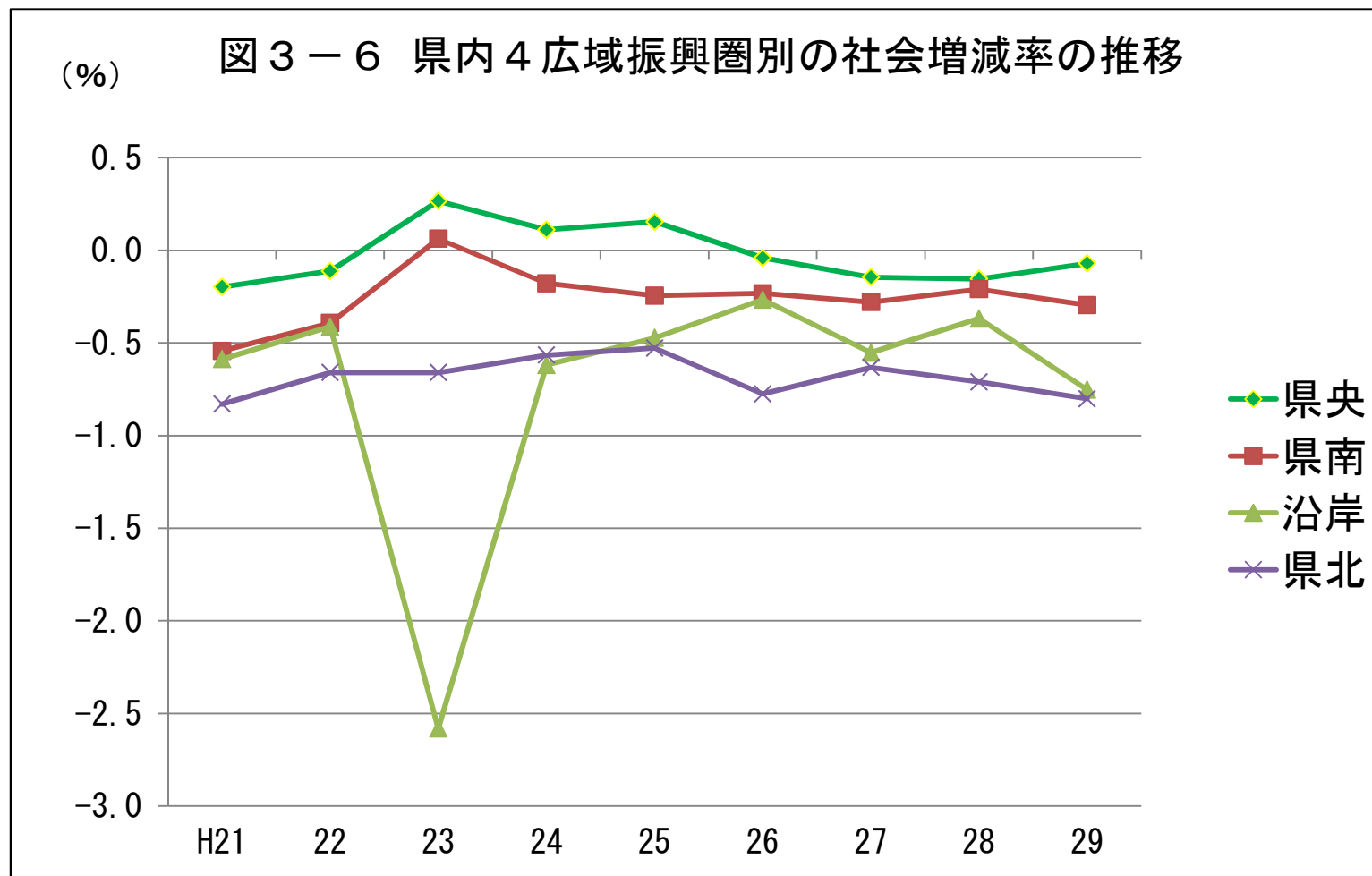
3-5 4広域振興圏別の社会増減の推移



資料：総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」

全体的に社会減傾向
(H23～25の県央、H23の県南を除く)

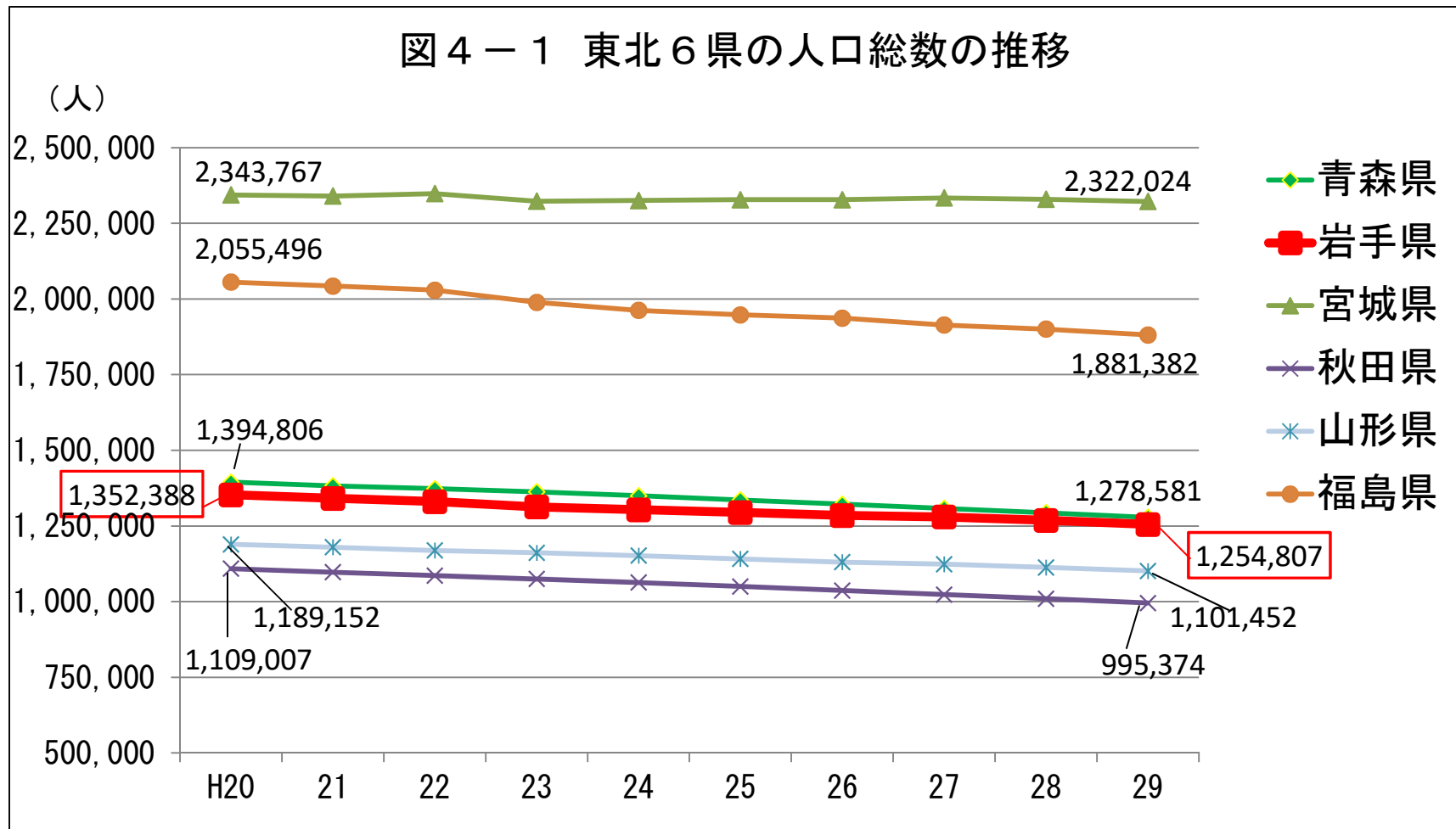
3-6 4広域振興圏別の社会増減率(注4)の推移



資料:総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」
 (注4)社会増減率 : (当年社会増減÷前年人口)×100%

前記3-5社会増減の推移と同様の傾向

4-1 東北6県の人口の動向(注5)

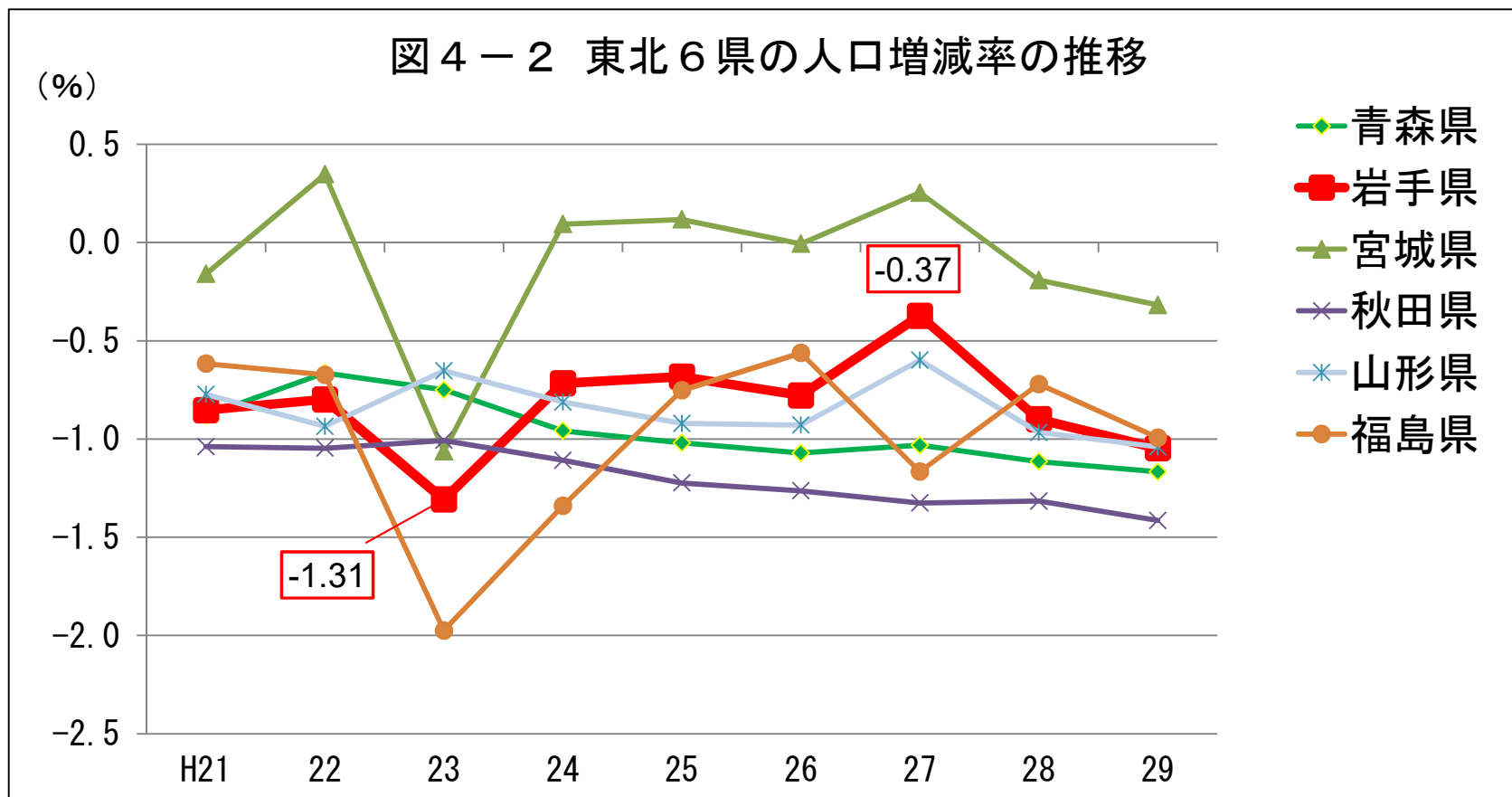


資料：総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」、各県公表資料

(注5)人口推計について、岩手県を除く東北5県では外国人数を含めて公表している。一方、岩手県の公表では外国人数を含めていないが、本データでは他県との比較のため、外国人数を含めた値としている。

宮城県でわずかに減少傾向、その他の5県で減少傾向

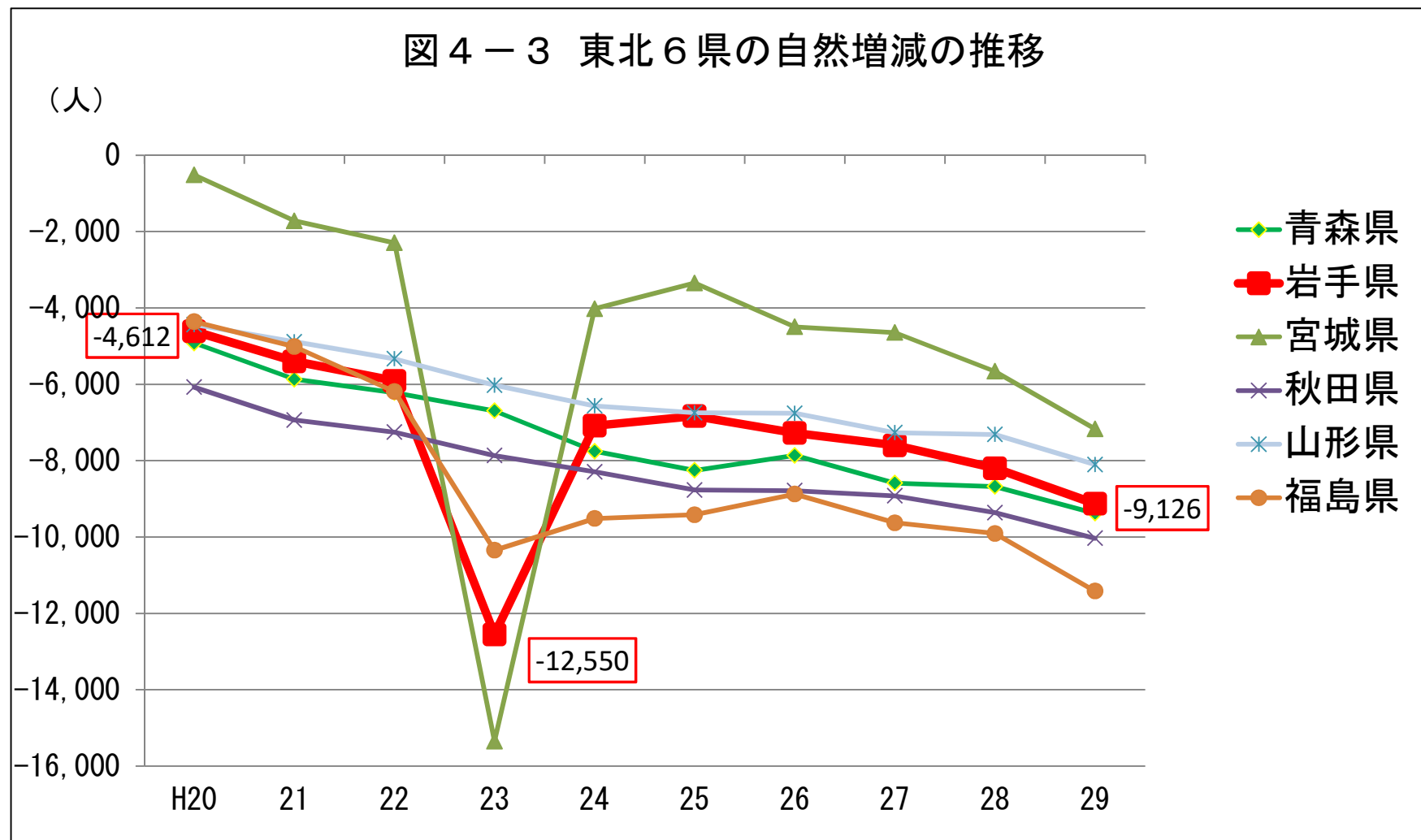
4-2 東北6県の人口増減率の推移



資料:総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」、各県公表資料

- ①宮城県以外の5県の人口増減率は、H27年を除くと、毎年▲0.5%を下回っている
- ②全ての県で、H24以降グラフが右下がり ⇒ 人口減少拡大傾向

4-3 東北6県の自然増減の推移

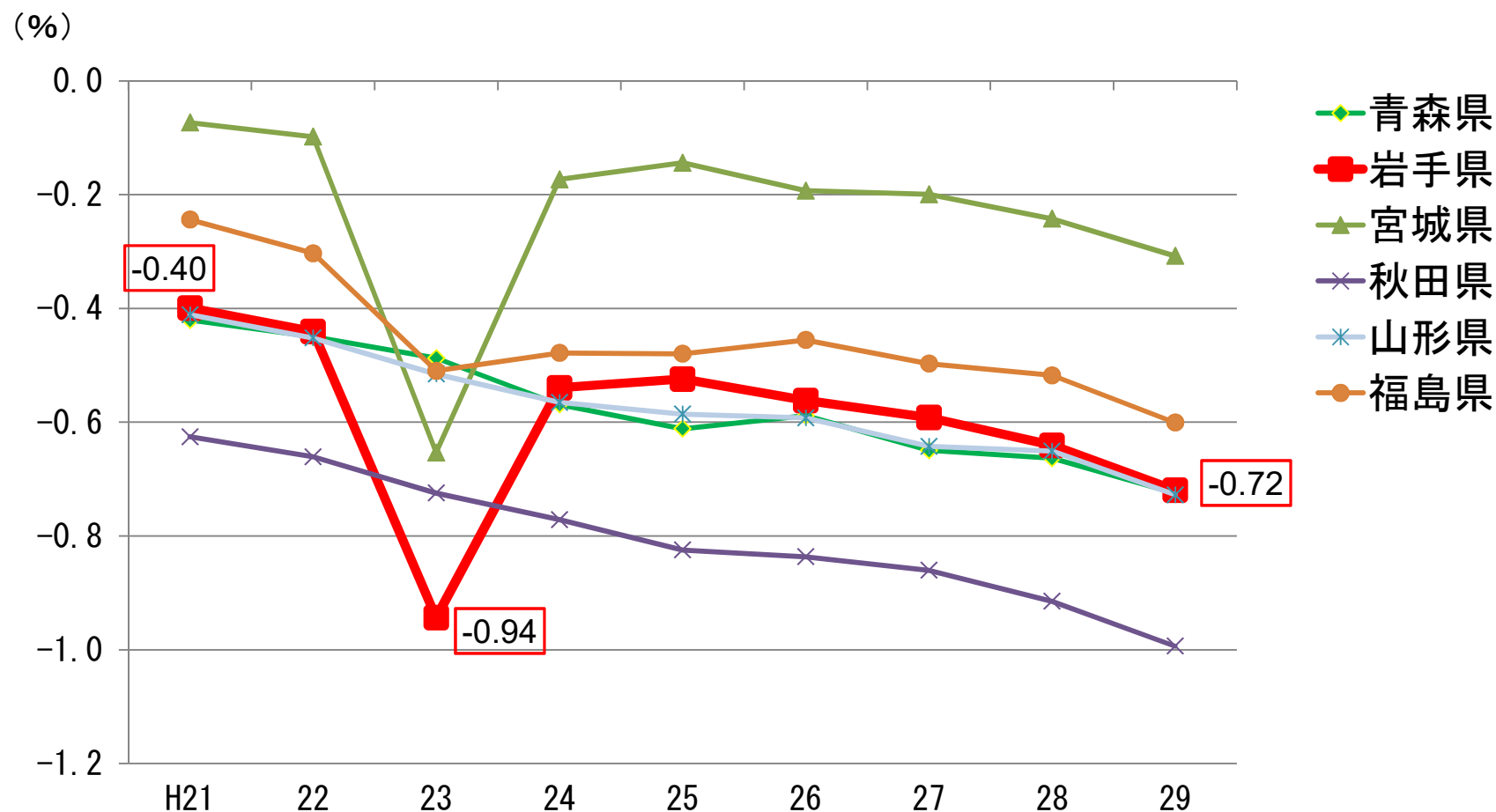


資料：総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」、各県公表資料

全ての県で減少傾向

4-4 東北6県其自然増減率の推移

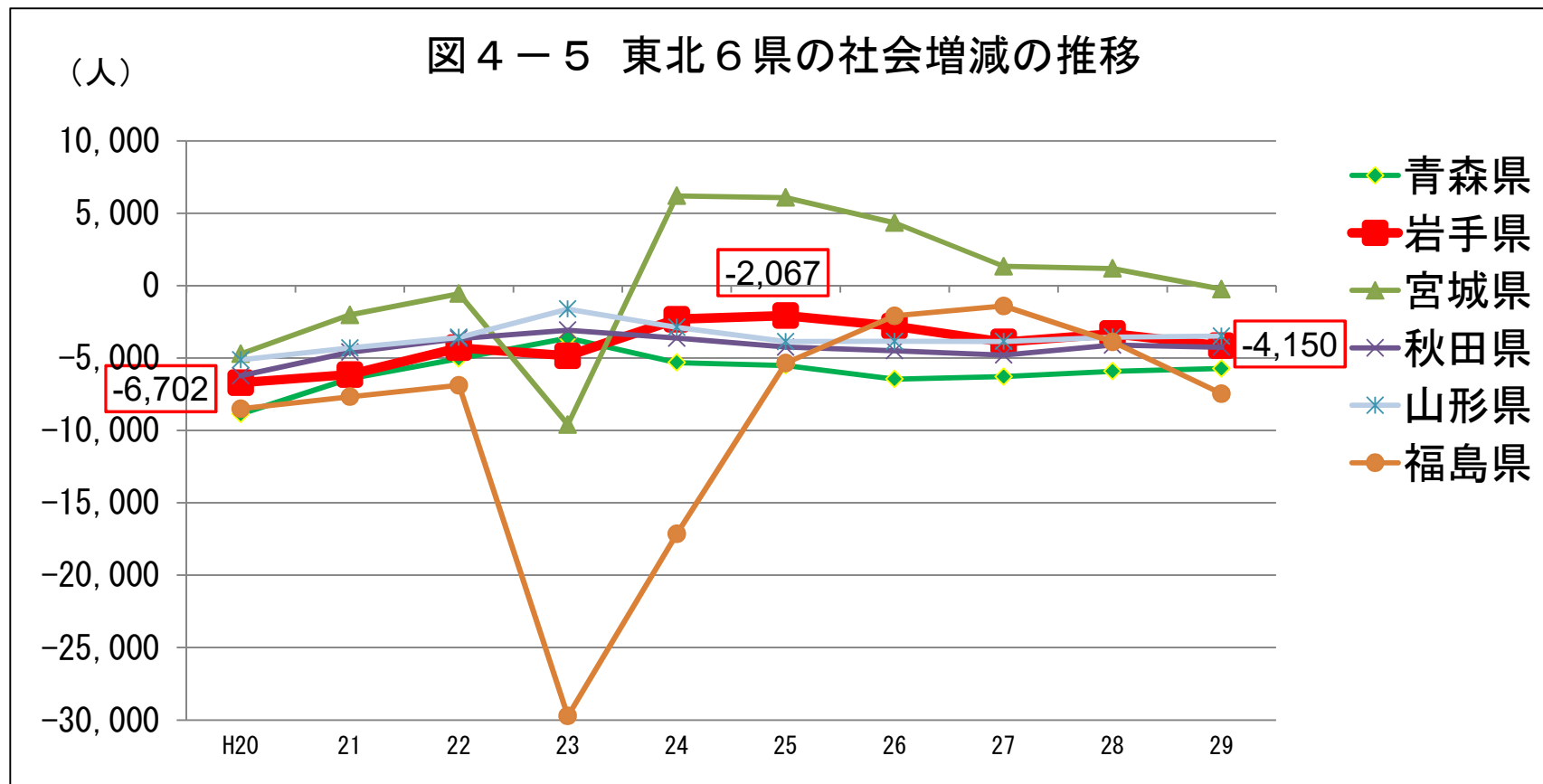
図4-4 東北6県其自然増減率の推移



資料：総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」、各県公表資料

- ①全体的にグラフが右下がり ⇒ 自然減は拡大傾向
- ②H29年の秋田県其自然増減率は▲0.99%

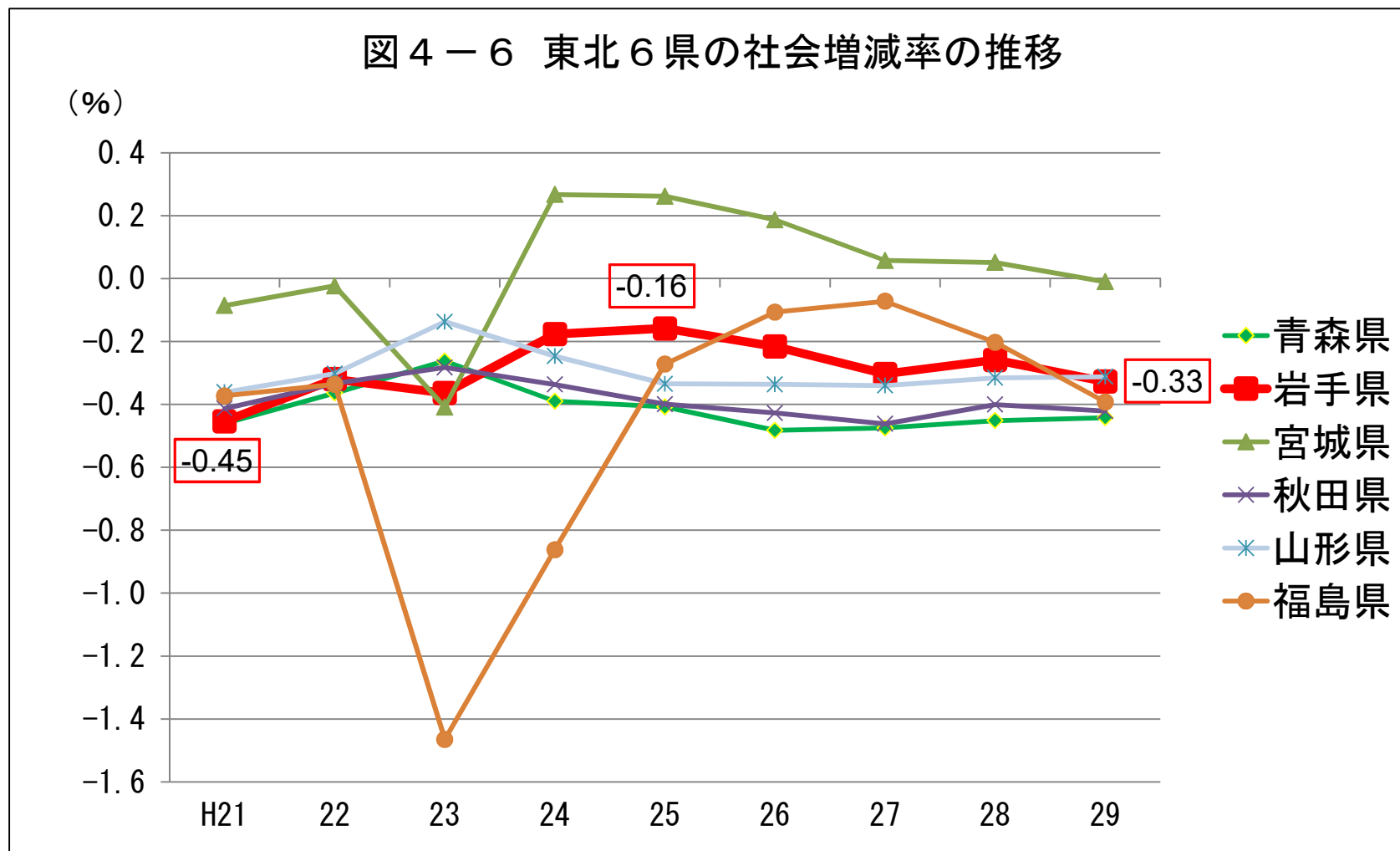
4－5 東北6県 of 社会増減の推移



資料：総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」、各県公表資料

- ①本県では、震災以降、▲4,000人～▲2,000人前後で推移
- ②H29年は、福島県で社会減が▲7,455人（前年比1.92倍）と拡大、宮城県で前年の社会増（1,191人）から社会減（▲237人）に転じている。

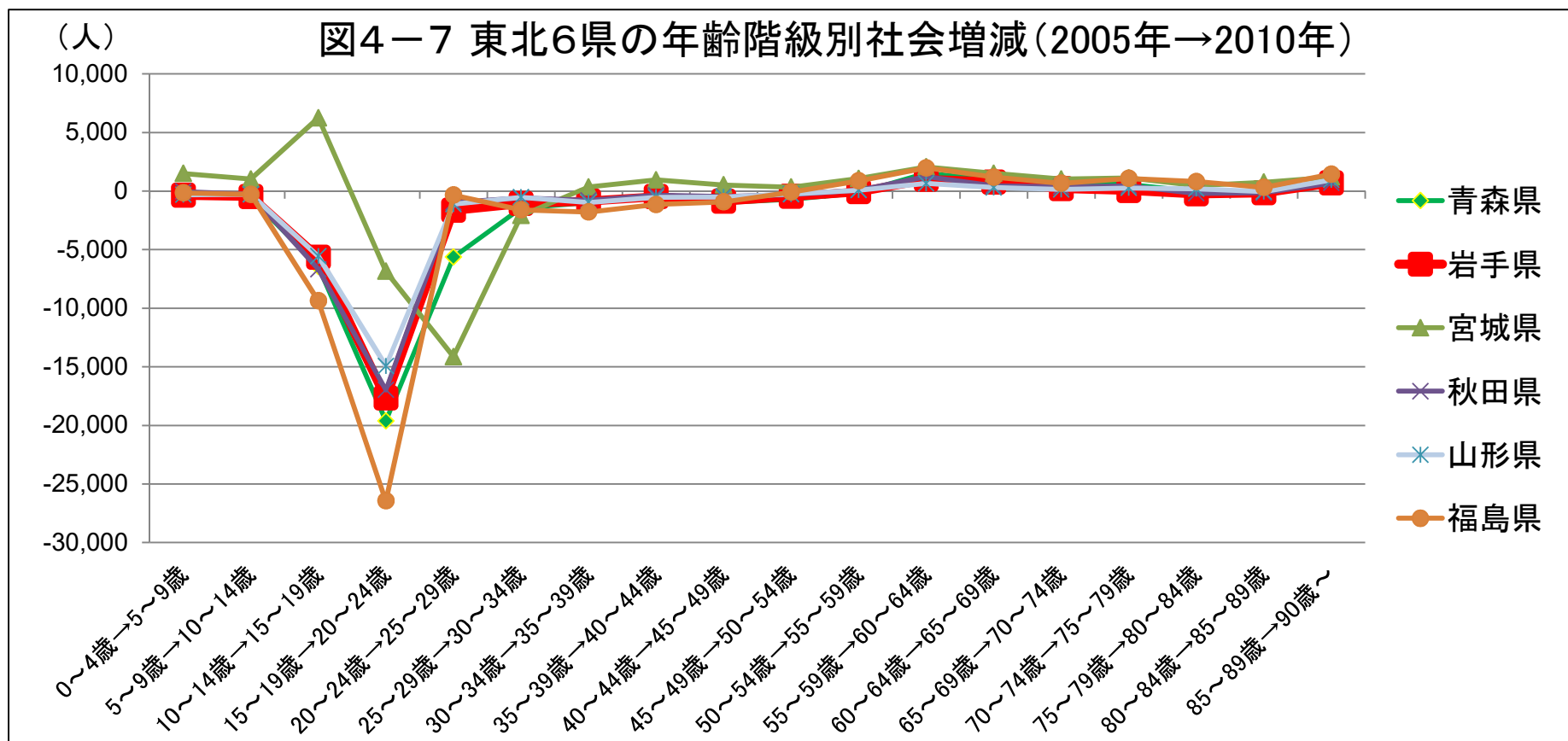
4－6 東北6県社会増減率の推移



資料：総務省統計局「国勢調査」、岩手県「毎月人口推計」、各県公表資料

前記4－5社会増減の推移と同様の傾向

4-7 東北6県の年齢階級別の社会増減 (RESAS^(注6)分析)



(注6) RESAS: 内閣府及び経済産業省が平成27年4月に運用を開始した官民のビッグデータを閲覧できるツール。インターネット環境があれば、誰でも無料で閲覧が可能。<https://resas.go.jp/> 又は、検索エンジンで「RESAS」と検索。)

- ①宮城県を除く5県では、15~24歳における県外転出が顕著
- ②宮城県では、15~19歳が転入超過、25~29歳が転出超過